

日本独文学会

春季研究発表会

2026年5月23日（土）・5月24日（日）

第1日 午前10時より

第2日 午前10時より

会場 上智大学

四谷キャンパス 12号館

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

E-Mail: tagung2026sophia@jgg.jp

参加費

研究発表会・懇親会ともに

Peatixによる事前オンライン決済（5月18日まで）

チケットページ <https://sophia2026.peatix.com>

1. 研究発表会

- ・一般会員：1,500円（当日払い2,000円）
- ・学生会員：1,000円（当日払い1,500円）
 - ・非会員（一般）：2,000円
 - ・非会員（学生）：1,500円

2. 懇親会

- ・一般会員および非会員（一般）：8,000円
- ・学生会員および非会員（学生）：4,000円

日本独文学会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6 南大塚エースビル 603

Tel./Fax: 03-5950-1147

E-Mail (メールフォーム) : <http://www.jgg.jp/mailform/buero>

第1日 5月23日(土)

開会の挨拶 (10:00~10:05)

A会場 (12号館 502)

上智大学 中井 真之
会 長 生駒 美喜

日本独文学会総会 (10:05~11:30)

A会場 (12号館 502)

日本独文学会・DAAD 賞授賞式 (11:40~12:20)

A会場 (12号館 502)

ドイツ語学文学振興会賞授賞式・総会 (12:30~13:30)

A会場 (12号館 502)

招待講演 (13:20~14:20)

B会場 (12号館 402)

Prof. Dr. phil. Helmut Heit (Klassik Stiftung Weimar)
Vom Wert der Wahrheit. Nietzsche im Zeitalter postfaktischer Politik
司会：Christian Zemsauer

ドイツ語教育部会総会 (12:40~13:10)

C会場 (12号館 302)

ドイツ語教育部会講演会 (13:20~14:20)

C会場 (12号館 302)

平高 史也 (慶応義塾大学名誉教授)
ウェルフェア・リングイスティクス・共生・言語教育

シンポジウム I (14:30~17:30)

A 会場 (12 号館 502)

1960 年代以降の知識人
——文芸的公共圏と政治的公共圏の交差——

司会：小林 哲也

1. アドルノと「大衆」——文芸的公共圏から政治的公共圏へ——
橋本 紘樹
2. 東ドイツのベンヤミン——1960-70 年代における遺稿編集・出版をめぐって
田邊 恵子
3. 政治的公共圏の脱植民地化をめぐって：ヘルベルト・マルクーゼとアンジェラ・デイヴィスを中心に
大村 一真
4. 文芸批評と政治批評の交差——K・H・ポラーの美学——
小林 哲也

口頭発表：文学、文化・社会 I (14:30~17:05)

B 会場 (12 号館 402)

司会：中井真之・眞鍋正紀

1. ヴァニタスと患者—『阿呆物語』に見るメメント・モリ
森下 勇矢
2. 式場隆三郎におけるドイツ病跡学の受容と「ゴッホ神話」
石野 光俊
3. H. E. ノサックの「境界」概念再考 —〈生／死〉表象における脱二元論的傾向—
石上 淳史
4. 若きベンヤミンにおけるカント批判の転回—「経験」概念から「暴力批判」へ—
寒河江 陽

口頭発表：語学、ドイツ語教育 I (14:30~17:05)

C 会場 (12 号館 302)

司会：浅見昇吾・高橋亮介

1. ドイツ語自然発話におけるジェンダーと世代の交差
若井田 雅仁
2. 基本形屈折と語幹屈折に基づく現代ドイツ語名詞形態論の再構築—屈折・派生・複合の統合的記述に向けて—
池田 裕行
3. Kontra Valenz? —ヴァレンツ理論再考
田中 慎

4. Aufforderungs-Ethicus について：発話行為と人称制限

城山 月花

ブース発表（14:30～16:00）

D 会場（12 号館 202）

近年の言語学に見られるパラダイムシフトから何が言えるか

渡辺 学

ドイツ語教育部会

「大学ドイツ語入試問題検討委員会」展示・DaF-Café（13:00～17:00）

（12 号館 102）

懇 親 会（18:00～20:00）

会場：上智大学 11 号館地下 1 階ラウンジ

会費：8,000 円（学生は 4,000 円）

※懇親会費の支払い方法については、プログラム 1 頁目を御確認ください。

第 2 日 5 月 24 日（日）

シンポジウム II（10:00～13:00）

A 会場（12 号館 502）

トーマス・マンの間メディア性

司会：今井 敦

1. マンにおける諸感覚と言語のメディア — 朗読者、俳優、雑誌編集者、そして作者として

今井 敦

2. 1923 年の無声映画 *Buddenbrooks*

別府 陽子

3. ハリウッドのトーマス・マン

山本 佳樹

4. トーマス・マンとエリカ・マン

千田 まや

口頭発表：文学、文化・社会Ⅱ（10:00～11:55）

B会場（12号館402）

司会：山取圭澄・加藤恵哉

1. カフカの「相撲」と「柔術」——日露戦争と日本イメージをめぐって
藤田 隼風
2. 『プルースト—カフカ—ジョイス 入門講義』（1948）再考 —戦後のエ
リアス・カネッティの文学論の起点として
相馬 大樹
3. 抵抗の技術としての対位法——テオドア・W・アドルノの音楽哲学にお
ける音楽的主体と唯名論
相馬 巧

口頭発表：文学、文化・社会Ⅲ（10:00～11:55）

C会場（12号館302）

司会：小松原由理・Mechthild Duppel

1. Kamerabewegungen, Perspektiven und Blenden während des
Drachenkampfs in Fritz Langs Stummfilm-Epos Die Nibelungen (1924)
C. P. Reinelt
2. Kolonialismus kommt nach Hause: Afrodeutsche Lebenswelten im
Kaiserreich zwischen Alltag, Exotisierung und Widerstand
Manuel Kraus
3. Heimat に特化した文化資本としての少数言語と少数言語教育の役割—フ
ェール島における外国語としてのフリジア語学習を事例に—
Adam Jambor

口頭発表：語学、ドイツ語教育Ⅱ（10:00～11:55）

D会場（12号館202）

司会：佐藤友紀子・Daniela Tateishi

1. Im Wandel der Zeiten – Füllwörter zwischen Funktion und Kritik
Sabine Randhage
2. Auditive und akustische Analyse von Audioaufnahmen zur Beschreibung
und Quantifizierung von Ausspracheabweichungen mithilfe von MAXQDA
Ralph Degen
3. Lernorganisation, Lernleistung und Ressourceneinteilung, wie sie

zusammenhängen und wie wir sie fördern können

Frank Nickel

閉会の挨拶（13:00～13:05）

A 会場（12 号館 502）

上智大学 大田 浩司

研究発表会期間中、上記のプログラムに加えて、書店・出版社等による書籍展示が行われます。

会場のご案内

会場：上智大学四谷キャンパス 12 号館

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

最寄り駅：JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 / 四ッ谷駅 麴町口・赤坂口から徒歩 3 分

Informationen zum Tagungsort

Die Tagung findet auf dem Yotsuya-Campus der Sophia-Universität statt.

Adresse: 7-1 Kioicho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8554

Die nächstgelegenen Stationen:

Yotsuya (JR Chuo-Line, Tokyo Metro Marunouchi-Line, Nanboku-Line)

ハラスメント対策ワーキンググループよりご案内

ハラスメント対策 WG ブース（1 日目 14:30～2 日目閉会まで）

（12 号館 301）

学会では現在、ハラスメント対策 WG を立ち上げ、ハラスメント対応の制度づくりを進めています。情報共有とディスカッションのため、今後、春・秋の研究発表会において WG ブースを設けます。その際の参考にさせていただくため、「ハラスメントに関する目安箱」を Google Form で設置いたします。

<https://forms.gle/78ckMAPv67TAn5mk9>

ハラスメントおよび差別は、人間の尊厳にかかわる問題です。日本独文学会は、いかなるハラスメントも差別も許容しません。学会のハラスメント・差別防止に関する取り組みについては、下記ページをご覧ください。

<https://www.jgg.jp/mod/page/view.php?id=648>